



せたがや区議会だより

No.223

平成22年(2010年)1月1日
発行 世田谷区議会

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27
TEL (5432) 1111代表 FAX (5432) 3030
http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/

大蔵第二運動公園用地等の取得などを可決

第4回 定例会



迎春

新年のごあいさつ

世田谷区議会議長 川上 和彦
あけましておめでとうございませう。新春を迎え、区民の皆様のお祈り申し上げます。昨年、区では補正予算を計上し、新型インフルエンザワクチン接種費用の助成を開始しました。引き続き、感染拡大防止に向けた取り組みを進めてまいります。また、世界的な経済危機以降、日本経済は厳しい状況にあります。区はこの間、緊急経済対策を実施し、区民生活や中小企業の支援に取り組みを進めました。今後も、地域経済の活性化と安心して暮らせる地域社会づくりに努めます。また、経済危機の影響から、22年度は大幅な税収減が見込まれます。財政健全化の維持に向け、行財政改革を一層進めます。さらに、保育待機児の解消やCO₂削減に向けた取り組み、次世代を担う子ども課題の解決にも力を尽くします。区議会は、いつまでも住み続けたいまち世田谷の実現に向け、今年も全力で取り組んでまいります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

計上し、新型インフルエンザワクチン接種費用の助成を開始しました。引き続き、感染拡大防止に向けた取り組みを進めてまいります。また、世界的な経済危機以降、日本経済は厳しい状況にあります。区はこの間、緊急経済対策を実施し、区民生活や中小企業の支援に取り組みを進めました。今後も、地域経済の活性化と安心して暮らせる地域社会づくりに努めます。また、経済危機の影響から、22

年度は大幅な税収減が見込まれます。財政健全化の維持に向け、行財政改革を一層進めます。さらに、保育待機児の解消やCO₂削減に向けた取り組み、次世代を担う子ども課題の解決にも力を尽くします。区議会は、いつまでも住み続けたいまち世田谷の実現に向け、今年も全力で取り組んでまいります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から26件の案件が提出され、すべて原案どおり可決しました。

●21年度補正予算
○一般会計(第四次) 1件

賛成多数 賛成：自、公、民、共、産、生、無、政、策、社、民、区、民、虹、世、田、谷、無、所、属
反対：無党派

生活保護受給者数の増加などに伴う保護費の追加など。なお、補正後の予算額は二四九七億七六五六万五千円。

●条例の改正 16件

○保健センター条例 (全員賛成)

○保健センター玉川分室の廃止。 (全員賛成)

○障害者福祉施設条例 (全員賛成)

○九品仏生活実習所中町分場(中町2-25-17)の設置。 (全員賛成)

○後期高齢者医療条例 (全員賛成)

○国民健康保険条例 (全員賛成)

○介護保険条例 (全員賛成)

○以上3件は、保険料の延滞金の割合を軽減する期間を現行の1カ月から3カ月に変更することなど。

○公園条例

賛成多数 賛成：自、公、民、共、産、生、無、政、策、社、民、区、民、虹、世、田、谷、無、所、属
反対：無党派

次の公園を新設するとともに、経堂第2児童遊園(経堂3-22-12)を「経堂けやき公園」として区立公園に位置づけた。

名称	所在地
南島山けやき公園	南島山3-12-2
南島山三角公園	南島山3-12-18
桜木ふれあい緑地	桜 1-27-28
深沢の杜緑地	深 沢 8-14-1

○身近な広場条例

賛成多数 賛成：自、公、民、共、産、生、無、政、策、社、民、区、民、虹、世、田、谷、無、所、属
反対：共、産、生、無、政、策、社、民、無、党、派、虹

玉川一丁目河川広場及び区立公園に位置づけた経堂第2児童遊園の廃止。

○自転車条例 (全員賛成)

○松原自転車等駐車場(赤堤4-1-1先)の新設。

○レンタサイクルポート条例 (全員賛成)

○利用できる者の範囲の拡大と日ぎめの利用料金の限度額の変更。

○区長等の給料条例 (全員賛成)

○監査委員の給与条例 (全員賛成)

○教育長の給与・勤務時間条例 (全員賛成)

○以上3件は、給料月額及び期末手当の支給月数の改定。

○区議の報酬・費用弁償条例 (全員賛成)

○報酬月額及び期末手当の支給月数の改定。

○職員給与条例 (全員賛成)

○幼稚園教育職員給与条例 (全員賛成)

○以上2件は、給料月額及び期末手当の支給月数などの改定。

○職員給与条例 (全員賛成)

○幼稚園教育職員給与条例 (全員賛成)

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつ状などは禁止されています。

～8ページへ続く～

平成22年(2010年)年頭に当たって

平成21年12月18日現在

自由民主党 世田谷区議団

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、日ごろからご支援を賜り、心より感謝を申し上げます。昨年来続いている世界的経済不況は、一部に好転の兆しが見られるとは言え、現実の日本経済は、雇用情勢に厳しさが増し、いまだ先行き不透明な状況にあります。区政運営においても、当面、厳しい財政状況が見込まれており、より一層の行財政改革を推進する中で、山積する区政課題に対し、真摯に取り組む決意であります。国政では政権交代を迎えることになりましたが、我が党は、区政を支える区議会第1会派として、国の動向を注視しつつ、円滑な行政サービスの提供に全力を尽くしてまいります。

以下のとおり取り組みます。

- 健康づくり(総合支所ごとでの地域体育館の整備、学校スポーツ施設の地域開放、高齢者の健康増進・介護予防対策の強化など)
- 環境・みどり(太陽光発電等の普及促進、公共施設への省エネルギー設備の導入、壁面・屋上緑化に向けた促進策の充実、営農支援・農地保全策の拡充など)
- 産業振興(区内事業者支援策の充実、新たな都市型産業等の誘致、区内共通商品券の発行支援、商工・産学公連携の促進など)
- 高齢者・障害者施策(高齢者の生きがい活動への支援、在宅生活を支える地域密着型サービス施設の充実や見守り施策の展開、障害者の地域生活支援の拡充、福祉人材の確保・育成策の充実など)
- 安全・安心(区内建築物の耐震化への一層の取り組みとさらなる減災対策の展開、若年層に対する防災人材育成策の推進、急増する自転車事故防止対策の強化、豪雨

 小畑 敏雄 〒157-0066 成城4-19-7 3484-8848	 川上 和彦 〒157-0061 北鳥山6-18-17-303 5384-5182	 上島 よしもり 〒154-0012 駒沢1-2-7-C棟 5433-5166	 大場 やすのぶ 〒154-0011 上馬2-1-7 5486-6800	 石川 征男 〒157-0072 祖師谷1-9-16 3483-5111
 鈴木 昌二 〒158-0095 瀬田4-7-11-606 3709-3422	 菅沼 つとむ 〒154-0015 桜新町1-14-18 3428-2161	 新川 勝二 〒154-0011 上馬5-19-16-301 3429-5650	 山下 芳男 〒154-0011 上馬4-2-5 3418-2869	 戸のりお 〒156-0043 松原3-29-18 3323-7223
 山内 彰 〒154-0001 池尻4-29-18 3411-1488	 山口 ひろひさ 〒158-0082 等々力2-23-6-303 3702-1819	 山 晋一 〒156-0041 大原1-16-3-112 3466-7005		

世田谷区議会 民主党

謹賀新年。日ごろから温かいご支援賜り、御礼申し上げます。

昨年は総選挙にて、無駄遣いの一掃、子育て・教育、年金・医療、介護や雇用など暮らしの安心を政策の柱に掲げて、我が民主党が大きなご支持を賜り、政権交代が実現いたしました。依然として厳しい社会経済情勢下、皆様からのご期待を日々感じております。

民主党政権のもと、本年度より区議会では民主党メンバーのみの会派として再スタートいたしました。行政改革・議会改革をさらに進めて財源を捻出し、子育て・介護・雇用といった喫緊の生活課題に迅速にこたえようと、将来を見据えた教育・環境・街づくりの諸課題に對峙し、子どもたちが未来に希望を持てる地域社会をつ

対策の着実な推進、新型インフルエンザ対策の充実など)

- 街づくり(地域主体の街づくりの推進、優先整備路線の整備促進や狭隘道路拡幅などによる災害に強い街づくりの推進、開かずの踏切解消に向けた鉄道立体化の促進など)
- 子ども施策(保育サービス待機児対策の推進、在宅子育て支援策の拡充、需要が高まる新BOP事業の充実や環境整備など)
- 教育(学校適正配置の推進、9年教育を見据えた教育活動の充実、地域と連携した学校づくりの推進など)

私たち自由民主党世田谷区議団は、いつまでも住み続けたいまち世田谷の実現を目指し、全力で取り組んでまいります。



 風間 ゆたか 〒154-0002 下馬3-24-19 6914-9053	 上 裕之 〒156-0052 経堂1-36-4-117 5426-4641	 稲垣 まさよし 〒158-0091 中町5-28-1 5758-7400	<p>(1)チルドレンファーストの実現 子育て・保育の充実に加え、幼児健診や教育環境、学童保育の改善など少子化対策全般を求めました。</p> <p>(2)低負担高満足な福祉サービスの構築 高齢者と障害者への福祉サービスの一層の充実と、都立梅ヶ丘病院</p>		
 中塚 さちよ 〒156-0055 船橋1-1-11 松本ビル3階 3429-6078	 すが ややすこ 〒157-0064 給田5-2-13-115 090-3244-9504	 重政 はるゆき 〒156-0043 松原4-32-3 3324-9638			
 藤井 まな 〒154-0012 駒沢3-7-9-107 3487-1267	 西村 じゅんや 〒157-0062 南鳥山5-11-17-205 5313-0150	 中村 公太郎 〒158-0082 等々力8-21-3-206 090-8050-2750			

せたがや政策会議

謹賀新年。「せたがや政策会議」は区議会唯一の「政党内属さない市民議員の交渉会派」です。時あたかも政権交代直後で地方自治の現場は困惑しておりますが、私たちは一貫して区民目線で考え、一切のしがらみなく、行政のチェックを続けて参ります。また「批判はしたが自分たちにはできない」ということが無いよう、常に自戒

し責任ある発言に努めて参ります。区役所のムダを排し、新型インフルエンザ対策、災害対策、地域の要としての出張所、そして住宅都市世田谷としてみどりの増大に積極的に発言して参ります。

 大庭 正明 〒157-0063 粕谷3-15-3 3307-1179	 小泉 たま子 〒157-0068 宇奈根3-14-28 3415-0305	 田中 優子 〒156-0043 松原4-34-20-309 3322-8131
--	---	---

院跡地の小児医療充実化などを求めました。

(3)いつまでも安心して暮らせる世田谷の実現
いつまでもこの地域で暮らせるよう環境対策や防犯対策、新たな産業政策などを求めました。これまで2年半皆様からのご要望を政策に反映して参りましたが、本年もより一層の叱咤激励を賜りますようお願い申し上げます。



レインボー世田谷

慶春 たった一人の議員でも条理を尽くした議論があれば、多くのことを変えられるのが実感です。少数派の声、周囲の無理解に苦しむ人たちの声を代弁します。合言葉は、ちいさな声、社会に届け!

 川上 あや 〒156-0051 宮坂2-8-2 3439-3384	 あべ りき 〒157-0076 岡本1-38-14-306 6805-6181
--	---

区民の会

謹賀新年、国政での事業仕分けは無駄の排除に有効でした。区での仕分けはまず区長や議員から実施すべきです。区民の税金を食い物にする職業議員・多選議員の総取替えを！仕分け人はあなたです。

 木下 泰之 〒155-0033 代田4-24-15-102 5355-1283

無党派市民

迎春 下北沢の街中に幹線道路を通すな。踏切解消よりも道路新設。高層開発優先の連立事業見直しを。京王線は全線地下化を。二子玉川、外環の見直しを。新政権にグリーンニューディールを実行させよう。

新年あけましておめでとうございます

公明党 世田谷区議団

新年あけましておめでとうございます。皆様からの公明党への温かなご支援に心より感謝申し上げます。昨年は、政権交代という大きな年の中で、政治的にも社会的にも大きな変化のあった年でありました。併せて、一昨年から世界同時不況の波は、依然として影響を与え続け、我が国の経済再生への条件は未だ整っておらず、依然として失業率は上昇を続けています。こうした不安定の中、世田谷区の来年度以降の財政運営は、一層厳しくなることが予測されています。しかし、安全安心のまちづくりを基本とした保育サービス待機児対策や新型インフルエンザ対策、緊急経済対策などの喫緊の課題は山積をしており、解決へ向けた加速度を更に増しながら、即応性を備えた取り組みを進めていかなければなりません。公明党世田谷区議団は「生活現場」から政策を積み上げ、真に区民のニーズに応えられる役割を果たしていくことを宣言し、次の諸課題につ

 おかもと のぶ子 〒156-0054 桜丘4-11-15 3427-0557	 いちかわ やすのり 市川 康憲 〒158-0082 等々力7-24-15 3704-8095	 いたい ひろし 板井 斎 〒158-0087 玉堤1-16-28 3704-8405	 いづか かずみ 飯塚 和道 〒154-0002 下馬5-7-6 3410-2757
 たかはし たかひろ 高橋 昭彦 〒156-0044 赤堤2-30-12 3327-0443	 たかひろ たかひろ 高久 則男 〒154-0005 三宿2-14-7-304 3422-0828	 よしだ みつのり 杉田 光信 〒157-0061 北鳥山6-32-16 3308-4033	 さいとう ひろし 佐藤 弘人 〒157-0071 千歳台3-21-14 3482-7732
 もりしげ もりひろ 星 養一 〒154-0016 弦巻1-28-18 3426-7197	 つかがわ ひろまさ 塚 敬二 〒154-0022 梅丘3-4-12 3420-0240		



- いて、具体的に取り組みます。
- ① 子どものために（保育待機児解消や子育て支援、幼児教育の確立、公教育の復権）
 - ② 働く人のために（区内での雇用創出や内需主導型への転換）
 - ③ お年寄りのために（高齢者の見守りネットワークの構築や地区福祉機能の強化）
 - ④ 健康のために（新型インフルエンザ対策・がん検診の充実）
 - ⑤ 環境のために（CO₂削減への具体的取り組みや「みどり33」達成へ向けた公園整備と農地保全）
 - ⑥ 介護のために（都立梅ヶ丘病院跡地利用による総合拠点整備や介護従事者の待遇改善）
- 公明党は、3000人の地方議員のネットワークを軸に、区民一人一人の生命・生活・生存の確保こそ政治の使命であるとする「人間主義・平和の党」として、どこまでも現場主義で、どこまでも生活者の視点で、全力で働いて参ります。

日本共産党 世田谷区議団

新年おめでとうございます。昨年は、主権者・国民の力が自民、公明政権を退場させました。国民が期待する新しい政治を実現するために、日本共産党は「建設的野党」として全力をあげます。後期高齢者医療制度、障害者自立支援法の廃止、労働者派遣法抜本改正で、くらしを守る政治の実現に奮闘します。ダム建設、高速道路の中止など、ムダな公共事業

生活者ネットワーク 世田谷区議団

新年おめでとうございます。生活者ネットワークは一貫して「政治を生活のために」活かす活動をしてきました。今年も区民のみならず、さまざまな世田谷の暮らしを実感できるよう、以下の重点施策に全力で取り組んでまいります。

- 子育て・子育て支援を強化し、教育と若者施策を充実させる

 たけむら つねひこ 竹村 津絵 〒158-0091 中町4-1-8 3703-0451	 さくらい じゅんこ 井 純子 〒157-0065 上祖師谷5-20-5 3326-9665
---	--

 さくurai しろう 井 稔 〒154-0024 三軒茶屋1-6-11 5481-2928	 しろう さくurai 岸 志 〒157-0067 喜多見4-28-19 喜多見コーポ201 3415-6244
 さくurai しろう 中里 光夫 〒155-0033 代田2-31-4-303 3795-7091	 しろう さくurai 吉 ゆみ 〒157-0063 粕谷3-26-16 3309-3792
 しろう さくurai 村田 義則 〒158-0081 深沢4-7-12 3702-3206	

の見直しをすすめます。世田谷では、外環道建設の中止、二子玉川再開発や下北沢などの大型道路建設の見直しが課題です。日本共産党区議団は、公共事業を見直し、認可保育園の増設や就学援助の拡充など子育て支援をすすめ、介護保険の減免拡充、特養ホームの増設に取り組みます。中小企業の融資拡充や公契約条例実現に取り組みます。今年を核兵器廃絶の転機にするために、5月の核不拡散条約（NPT）再検討会議の成功のために全力をあげます。

- 高齢者・障がい者が住み慣れた地域に暮らし続けられるしくみと施設整備を拡充する
- 区民が守り育ててきたみどり・景観を次世代へ継承する
- 太陽光・太陽熱、風力、雨水などの活用をはかり、資源回収をすすめてエネルギー・資源循環型の社会をつくる
- 男女共同参画社会への取り組みを推進し、ドメスティック・バイオレンス（DV）を根絶する

 よしだ けいこ 吉田 恵子 〒154-0012 駒沢2-18-4-201 5430-9699	 よしだ けいこ 山木 きょう子 〒154-0002 下馬1-29-6 5712-3245
--	---

社会民主党 世田谷区議団

新しい年の幕開け、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。政権交代に伴い、区民生活のさらなる向上を図るため、区民主体の社会の実現、安定した経済の確立と社会保障の充実を目指します。男女が安心して子育てできる環境、仕事と生活を両立できる環境、個性が輝く生活文化都市、子どもたちの未来を保障する社会の実現に向けて邁進いたします。

 よしだ けいこ 羽田 圭二 〒158-0092 野毛3-14-1-306 3702-3550	 よしだ けいこ 唐沢 としみ 〒158-0083 奥沢4-27-4 3727-2950
---	--



区内農園でのみかん狩りの様子

世田谷無所属の会

謹賀新年 区民の皆様が安全で安心して暮らせるよう、区民福祉向上に向け、今年も皆様の立場に立つて、より多くの方の声を生かす努力をする所存でございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

 よしだ けいこ ひうち 優子 〒155-0033 代田6-6-22-102 3466-3858
--

無所属

新年あけましておめでとうございます。新型インフルエンザの流行に不安を感じる昨今、健康のありがたさを改めて感じます。それは個人も地域も同じです。健康には夢が広がるよう頑張ります。

 よしだ けいこ あおぞら こうじ 〒156-0041 大原1-13-7 3485-2726
--

代 表 質 問

11月25日及び26日の本会議で、6名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

自由民主党世田谷区議団

下山 芳男議員

政権交代による区予算への影響

質問 新政権のもとで多くの事業の執行が停止され、自治体では相応な混乱が生じている。政権交代による区の22年度当初予算への影響について、区の認識を示せ。

区長 基本姿勢は変わらず、区政の発展と充実を図る予算とする。

歳入減を踏まえた予算編成

質問 不況により22年度の歳入は大幅に減る見通しだ。財政の健全性を堅持しつつ行政需要に的確にこたえるため、優先課題を明確にしたためり張りある予算編成を行え。

区長 急遽、各部署に予算要求内容を改めて精査するよう指示した。

地域のスポーツ拠点の整備推進

質問 身近な地域にスポーツの場を整備することで区民の健康増進や地域交流の活性化が期待できる。国公有地なども活用し、地域のスポーツ拠点の整備を一層進めよ。

区長 あらゆる機会をとらえ施設整備の可能性を探るよう指示した。

スポーツ施設の地域優先利用

質問 学校体育館などは地域の拠点施設だが、地域団体が継続的に利用しにくい状況だ。地域団体の活動に応じ優先利用も可能とするよう施設利用のあり方を見直せ。

スポーツ振興部長 教育委員会と検討を深め学校に協力を要請していく。

世田谷らしい新産業への支援

質問 地域経済の活性化へのさらなる取り組みが必要だ。新産業の誘致や集積に向け区が支援するとして情報関連産業などを、世田谷の個性ある産業として根づかせよ。

副区長 今後の展開を見きわめ、支援の手法を組み立てる。

新型インフルエンザ対策の強化

質問 ワクチン優先接種対象者に迅速に接種費用を助成するなど、区が適時適切に新型インフルエンザ対策を講じたことを評価する。今後も感染拡大防止策を推進せよ。

副区長 強毒性に備える計画を策定し、全庁を挙げて取り組む。

認知症高齢者への支援の充実

質問 認知症高齢者の増加が予測されており、支援の充実が必要だ。高齢者実態調査の結果を踏まえ福祉人材育成や地域を巻き込んだ支援など実効性ある施策を展開せよ。

地域福祉部長 予防と早期発見からケアまで総合的な対策を進める。

障害者の地域生活の支援

質問 障害者が地域で安心して暮らせる社会を実現すべきだ。地域の関係機関が参加する地域自立支援協議会を活用し、障害者を地域全体で支える体制を強化せよ。

保健福祉部長 個別支援会議の開催など、支援体制を一層充実する。

病児・病後児保育施設の拡充

質問 突然の子どもの病気の際に、会社を休めず、預けられる保育施設も見つからず苦労している保護者が多い。不足している病児・病後児保育施設を積極的に整備せよ。

副区長 医療機関の協力を得ながら、一層の拡充に向けて検討する。

京王線沿線のまちづくりの推進

質問 京王線連立は、都市計画変更案の説明会が行われるなど、実現への道筋が見えてきた。連立化による開かずの踏切解消に向けた沿線地域のまちづくりを進めよ。

交通政策部長 区民とともに安全安心まちづくりの実現に取り組む。

豪雨対策としての下水道の整備

質問 豪雨対策には雨水管の整備促進が有効だ。水害に強い安全安心のまち世田谷の実現に向け、分流水道下水道地域における雨水管の整備率向上を都に働きかけよ。

土木事業部長 都との連携を図り、早期整備に向け積極的に取り組む。

世田谷9年教育の理念

質問 実施予定の世田谷9年教育を小中学校の連携で終わらせてはならない。子どもがたくましく生きる力やみずから判断し行動できる力を身につけられるものとせよ。

教育長 小中学校が一体となり質の高い教育の実現を目指していく。

公明党世田谷区議団

諸星 養一議員

アジア諸国との国際交流

質問 小中学生の海外派遣の拡大を初め、国際交流を拡充すべきだ。アジア諸国との交流のみならず、基盤を再認識するためにも韓国などの都市との姉妹都市提携を行え。

区長 議会などでの議論を踏まえ、検討することが重要だと考える。

区内への道の駅の整備

質問 厳しい財政状況の中、収益性を備えた公共施設を整備すべきだ。世田谷みやげの販売や区政情報発信の拠点、さらには観光資源ともなる本格的な道の駅をつくれ。

政策経営部長 外環道整備の機会などをとらえて研究する。

自転車走行レーンの整備

質問 交通事故撲滅に向け、自転車の安全な走行環境を整備すべきだ。通勤通学時の自転車利用が増えていることも踏まえ、早急に車道に自転車走行レーンを設置せよ。

副区長 今後とも交通管理者と連携し、整備を積極的に進める。

薬物乱用防止教室の実施

質問 薬物乱用が拡大しており、特に低年齢化の防止は喫緊の課題だ。薬物の使用は犯罪であることの啓発などを行う薬物乱用防止教室を区立中学校で実施せよ。

教育政策部長 今後も計画的に実施するよう全区区立校に働きかける。

がん対策の強化

質問 乳がんや子宮頸がんの検診無料クーポン事業は、早期発見の点から大変有効だ。がん対策の強化に向け、今後も事業を継続せよ。

保健所長 国の事業の動向を注視するとともに、対策の強化を図る。

まちづくりセンターの機能強化

質問 高齢者の見守りを初めとする福祉や介護、医療の課題解決の鍵は現場の声に敏感に反応できるまちづくりセンターにある。福祉の部署を組み入れ機能を強化せよ。

副区長 今後検証する重要な課題

世田谷区議会議民党

中塚 さちよ議員

事業仕分けの導入

質問 厳しい財政状況の中、基金の取り崩しを最小限に食い止め安定した区政運営を行うには、無駄な支出の削減が不可欠だ。国に倣い、区も事業仕分けを導入せよ。

副区長 従来の取り組みと比較検討し、区独自の手法を開発したい。

大型公共事業の見直し

質問 国が補助金を見直しを進める中、公共事業に係る補助金収入の見直しは不透明だ。厳しい財政状況を踏まえ、補助54号線や仮称二子玉川公園の整備計画を見直せ。

道路整備部長 必要な事業と考え、財源の確保と堅実な執行に努める。

保育施設の着実な整備

質問 区は22年度に約120名分の保育受入枠の拡大を計画している。確実に目標を達成できるように、保育施設の整備に全力で取り組め。

副区長 目標達成に向け、さまざまな手法により全力で取り組む。

障害者自立支援法見直しへの対応

質問 国は障害者の経済的な負担軽減に向け応能負担による障害者福祉の仕組みづくりを進めている。区としても利用者負担を軽減し、質量ともにサービス向上を図れ。

保健福祉部長 今後も国の動向を注視し、事業者などを支援する。

教育委員会のあり方の検討

質問 教育委員会のあり方を廃止も含めて検討すべきだ。教育委員会の必置規制を見直し選択制を導入することへの区長の見解を示せ。

区長 施策の原点は教育にあり、教育委員会に大いに期待している。

ごみ減量への効果的な普及啓発

質問 清掃一組への各区の分担金の算出方法がごみ量割となる22年度以降は、ごみ減量への取り組みが一層重要だ。区民の意識改革につながる効果的な普及啓発を行え。

清掃リサイクル部長 きめ細かな普及啓発や環境学習の推進などを行う。

日本共産党世田谷区議団

岸 武志議員

外環道整備に対する区長の対応

質問 外環道整備に地元住民の多くが反対する中、区は早期完成を求める要望書を国と都に提出した。区民の代表である区長ならば整備推進の意見に偏った行動は改めよ。

副区長 これまでの経緯から、一刻も早い事業開始を求めたものだ。

外環道整備による区民への影響

質問 外環道は地域住民にとって大気汚染などの環境悪化をもたらす迷惑施設でしかない。外環道整備で区民が受けるメリットを示せ。

副区長 首都圏全体の渋滞の緩和や環境の改善などが実現される。

二子玉川再開発計画の見直し

質問 再開発事業が失敗した場合、穴埋めに税金が投入されることは避けられない。ホテルなどの建設が予定されたIIa街区の計画は経済情勢を踏まえて抜本的に見直せ。

拠点整備部長 魅力ある計画となるよう今後も準備組合を指導する。

多摩川暫定堤防の高さの見直し

質問 多摩川の暫定堤防の整備に反対する住民の声をよそに、工事を強行している国の態度は問題だ。堤防の規格を住民の納得が得られる高さとするよう国に働きかけよ。

玉川支所長 計画の高さが住民を守るために必要だと聞いている。

認可保育園の最低基準への認識

質問 国は待機児解消に向けて認可園の認可の最低基準を緩和する方針を示したが、子どもの安全や健全な発達を支えるには基準の引き上げこそが重要だ。見解を示せ。

副区長 国や都の動向なども注視し、基準のあり方を研究する。

新型ワクチン接種費用助成の拡充

質問 新型インフルエンザワクチンの接種を経済的な理由で控えることがあってはならない。低所得者への一層の負担軽減策を講じよ。

保健所長 全額免除や半額程度の費用負担軽減を行っている。

代 表 質 問

代表質問、一般質問の模様をホームページで生中継・録画中継しています。
<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/>
議会中継をクリック!

生活者ネットワーク世田谷区議員

山木 きょう子議員

最終処分場の埋立て処理費の改定

質問 各区は都が運営する最終処分場の延命を図ったが、不燃ごみ減量に伴い処理にかかる固定費を維持できず、都は埋立処理費の値上げを要請した。区長は抗議せよ。
区長 これまでの経緯や課題を検証し、各区と連携して対応する。

二子玉川再開発の進め方

質問 地域住民との議論が尽くされないまま、IIa街区の事業認可が申請された。今後の法に基づく手続で出された意見を踏まえ事業計画の修正も必要だ。見解を示せ。
副区長 区民が期待する施設となるよう事業予定者を指導する。

高齢者の住まいの整備

質問 都は低所得高齢者向けの都市型ケアハウスの整備を表明した。区も福祉と住宅の部署の連携により高齢者向け住宅の整備を進めよ。
副区長 次期住宅整備方針に具体策を掲げるなど今後も対応を図る。

子ども施策への子どもの参画

質問 子どもの視点に立った施策を展開するには計画段階からの子どもの参画が不可欠だ。意見が施策に反映されていることを子ども自身が実感できる取り組みを行え。
副区長 今後も意見表明の場を設け、子どもの参画に取り組む。

中高生の居場所づくり

質問 池尻児童館を活動拠点とする中高生が児童館についての具体的な提案などを調査報告書としてまとめた。こうした提案を生かし、中高生の居場所づくりを進めよ。
副区長 中高生の声を取り入れ居場所づくりのあり方を明確にする。

食の安全安心の確保

質問 食の安全を確保するには、現在の食品表示制度では不十分だ。区民が詳細な情報を得られるよう、制度改正へ向けた動きをつくれ。
生活文化部長 国の動向を注視し、今後の対応を検討していく。

せたがや政策会議

大庭 正明議員

減収10億での庁舎問題解決はムリ

質問 庁舎問題は財政状況を見据えながら慎重に検討すべきだ。基金の大幅な切り崩しさえも想定される今般の厳しい財政状況を踏まえ、本格的な改修や改築は見送れ。
副区長 財政情勢を十分念頭に置いて取り組むべき課題だと考える。

梅ヶ丘病院跡地計画について

質問 景気悪化の影響で、区の財政見通しは厳しい状況だ。巨額の支出を伴う都立梅ヶ丘病院跡地の取得に、どう取り組むのか。
副区長 都の動向を注視しつつ、財源負担の軽減策の検討も必要だ。行政内部の議論や情報の公開

保健福祉部長 議論の経過について

世田谷の子育て支援施策の特色
質問 区は東京で一番子育てしやすいまちを標榜している。子育てするなら北区が一番を掲げる北区と当区の取り組みの違いを示せ。
子ども部長 実情に応じてそれぞれ特色ある施策を展開している。

農家の現状を直視した支援

質問 区内の全農家が兼業農家で農業所得は総所得の約1割に過ぎない上に、農業従事者の高齢化も深刻だ。この現状を直視し、区内農業を守る現実的な対策を講じよ。
産業政策部長 支援策を充実し、全力で農業と農地の保全に努める。

災害対策本部機能の確保

質問 財政難を理由に、区の災害対策本部機能が劣っている問題を先送りにはできない。庁舎問題との一体的な解決が難しい今、庁舎問題とは切り離して解決策を探れ。
危機管理室長 災害対策本部機能を有した一体的な庁舎が望ましい。

一 般 質 問

11月26日及び27日の本会議では、30名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

六戸 のりお議員(自 民)

環境に配慮した公共施設づくり

質問 環境に配慮した公共施設づくりを一層進めるべきだ。新技術の導入や、施設に太陽光発電と省エネ機器を合わせて設置して相乗効果を生み出すなどの工夫を行え。
答弁 低コストで質の高い施設整備の実現に向け積極的に取り組む。

一層の歳出削減に向けた取り組み

質問 長引く不況の影響で、区財政は厳しい状況だ。区民の理解を得て事業の点検や検証を行い、社会状況に合わなくなった事業は見直すなど、一層の歳出削減を図れ。
答弁 区の基本的な考え方を整理し、改めて歳出削減に取り組む。

債権の適正管理の徹底

質問 厳しい経済状況にある今こそ、歳入の確保と負担の公平性の確保が一層重要だ。債権管理重点プランに基づき滞納の予防や債権回収への取り組みを着実に進めよ。
答弁 全庁を挙げて財源確保と負担の公平性確保に全力で取り組む。

田中 優子議員(政 策)

スカイキャロットの経営の改善

質問 区施設であるキャロットタワー1最上階のレストランの赤字経営への対処が急務だ。指定管理者が経営改善を行わないのなら民間事業者がテナントとして貸し出せ。
答弁 指定管理者のサービス公社に経営状況の改善などを指導する。

障害者のショートステイの拡充

質問 障害者やその家族が地域で安心して暮らせる環境の整備は重要だ。区内で不足している障害者のショートステイを早急に拡充し、利用ニーズに的確にこたえよ。
答弁 今後とも社会福祉法人などと連携し、拡充に一層取り組む。

投票所のバリアフリーの周知

質問 投票所がバリアフリーであることの周知が不十分のため、投票をあきらめた人がいると聞く。投票所入場整理券に必要な情報を記載し、投票所の案内を徹底せよ。
答弁 体が不自由な人にとって必要な内容を整理し、改善する。

上川 あや議員(虹)

区は大学流失に無頓着すぎないか

質問 かつて区内に27カ所あった大学等は現在20カ所に減っている。京都市では大学の経済効果に着目。大学を市の一大産業と位置づけ移転抑止に努めているが区の見解は。
答弁 環境面での変化は大きい。地域経済への影響は限定的だ。

自治体間の大学誘致合戦に対処を

質問 少子高齢化を見据え、区部の自治体間で大学の誘致合戦が始まっている。足立区では過去4年間で4大学、1万人の学生誘致に成功している。区も無策を改めよ。
答弁 区の現状を踏まえ、地域と区内大学との連携を推進していく。

区が死蔵する解体建築物の復元

質問 区が文化的価値が高いとして解体保管した旧清水邸離れと旧棚網家板倉だが、それぞれ31年間と19年間、区は死蔵したまま。由緒ある資産を区民に還元せよ。
答弁 建築部材の活用方法や全庁的な対応について研究する。

木下 泰之議員(無党派)

騒音対策なき安上がりの高架素案

質問 京王連立事業の費用比較で地下より高架が優位は、騒音を考慮せず側道をケチるからだ。小田急線大江工区では南北側道であるのに、南に取らない理由を示せ。
答弁 南側はまちづくりなどの動向を踏まえ必要に応じて検討する。

騒音考慮すれば地下化こそ優位だ

質問 密集地での鉄道高架化は騒音対策で両側に13mずつの側道が必要との専門家意見がある。WHOが示した環境騒音ガイドラインについて区は理解しているのか。
答弁 WHOには詳しくはないが、国基準では鉄道騒音は適用除外だ。

膨らむ下北沢駅舎と消えた通行路

質問 小田急が示した下北沢駅舎イメージでは都市計画案時より駅舎長さが3倍となり、以前区から示された駅南側の通路が姿を消した。緊急車両も通れぬのは問題だ。
答弁 通路は避難路や緊急車両の通行路として示したのではない。



2011年12月に新設された深沢の杜緑地

本文中で使用している省略表記

スポーツ振興部長 || スポーツ振興担当部長
交通政策部長 || 交通政策担当部長
土木事業部長 || 土木事業担当部長
保健所長 || 世田谷保健所長
拠点整備部長 || 生活拠点整備担当部長
清掃一組 || 東京二十三区
玉川支所長 || 玉川総合支所長

中里 光夫議員(共産)

すがや やすし議員(民主)

唐沢 としみ議員(社民)

あべ 力也議員(区民)

重政 はるゆき議員(民主)

鈴木 昌二議員(自民)

下北沢駅前広場を見直せ

質問 区が示した駅前ロータリーありきの下北沢駅前広場のイメージでは、広場と北口商店街との間に2m以上の擁壁の様な段差が必要だ。都市計画の見直しが必要だ。

答弁 地元商店街などの意見を聞き、高低差に配慮し事業を進める。

失業者や低所得者の負担軽減

質問 最悪の雇用情勢が続いており、失業者や低所得者は厳しい生活を強いられている。セーフティネットとして就学援助や区民税減免の拡充などの負担軽減を行え。

京王線連立事業の情報の公開

質問 京王線連立事業の都市計画素案説明会は、高架・地下併用式とした検討内容や住民への影響が説明されず納得できない。区民が検討できるように情報を公開せよ。

認証保育所の増設

質問 23年4月までの保育受入枠の拡大計画を認可園の整備だけで実現できるか疑問だ。認証保育所を駅から遠くても設置できるようにして、認証保育所も増設せよ。

答弁 300戸以上の大規模な集合住宅建設時の開設も想定している。

配慮を要する児童生徒への支援

質問 配慮を要する子どもへの支援策への理解が低い区立校があり、保護者に必要以上の負担がかかるため通常学級を断念する子どもがいる。全校に支援策の活用を促せ。

桜小のBOP室地下化への対応

質問 桜小のBOP室が改築により地下に配置されることに対して保護者から子どもの健康面や安全面への影響を不安視する声が出ている。区は今後どう対応するのか。

地域の活性化に向けた指針の策定

質問 区は地域の活性化に向けた指針の策定に向け、区民とさまざまな意見交換を行っているが、そこで得た成果を区民としっかり共有し、政策に十分に生かせ。

答弁 区民と議論を積み重ね、区民自治と協働の一層の展開を図る。

国の事業仕分けの結果への対応

質問 国は、まちづくり関連事業を含めた事業仕分けを行っている。区のまちづくり事業に影響を及ぼす際は区民に直ちに情報を提供し、区民とともに対応策を検討せよ。

家庭教育支援の充実

質問 不況で家庭内の心の余裕も失われている今、教育のあり方を示すだけの家庭教育支援では不十分だ。家庭・地域・学校が連携し、温かく家庭を支援する施策を行え。

2020年のオリンピック招致活動

質問 都は山積する課題をよそに、150億もの税金を費やし2016年のオリンピック招致活動を行ったが失敗した。都は2020年の開催都市にも名乗りを上げたが区は追従するのか。

答弁 都から正式な協力依頼は受けておらず、都の動向を注視する。

区立文化施設の観覧料の無料化

質問 世田谷美術館と文学館の収蔵品は、もともと区民の税金で収集した区民の財産だ。有料での観覧は二重負担に当たる。全ての区民に常設展の観覧料を無料とせよ。

犬の鑑札と注射済票の改善

質問 区は犬の鑑札には刻印が薄く登録番号が消えやすいという問題があり、狂犬病予防注射済票には紙製のため破損しやすいという問題がある。それぞれ改善せよ。

スポーツ振興財団の適格性

質問 スポーツ振興財団は、千歳温水プールの一部を団体が占有して営利活動を行っている状態を野放しにしている。当該財団は指定管理者として適格だと言えるのか。

答弁 事実関係の調査を進め、運営において正すべき点は正す。

特別支援学級の設置の推進

質問 特別支援学級のある区立中は10校と少なく、生徒が集中している学校もある。通学面の負担軽減や指導の行き渡る学習環境の確保のため、全校への設置を進めよ。

学校施設改修での優先順位

質問 特別支援学級の生徒が使うトイレが古く、改修が急がれる区立中がある。区はどのような優先順位に基づき学校施設の改修に取り組んでいるのかを明確に示せ。

30年前と比べた水質と大気状況

質問 30年前の区内の環境問題と言えば、下水道の未整備による河川の汚濁や自動車の排ガスによる大気汚染であった。当時と比べ、水質と大気状況は改善したのか。

答弁 下水道の普及や公害防止技術の進展により、大きく改善した。

民有地の緑保全に向けた取り組み

質問 区はこれまで区有地の緑の保全を中心に多様な取り組みを行ってきた。みどり33の実現に向けて、今後は屋敷林や農地などの民有地の緑の保全や創出に全力を挙げよ。

環境の継承に向けた次世代育成

質問 区は緑豊かで良好な環境を継承していくためには、次世代の育成が不可欠だ。子どもが自然を愛する心をはぐくむため、環境教育や環境学習を充実せよ。

羽田 圭二議員(社民)

状況の変化に応じた再開発事業

質問 都市計画決定から10年近くがたつ二子玉川再開発では、状況の変化を踏まえて事業のあり方を考えるべきだ。建物利用のあり方などを住民と協議する場を設けよ。

十分な面積を備えた認可園の増設

質問 認可保育園の居室面積の最低基準が緩和されることにより保育の質が低下することを懸念する。待機児解消には十分な面積を備えた認可保育園の増設で対応せよ。

人権教育の推進

質問 男女共同参画社会の実現には、子どものころから男女平等の意識を持つことが必要だ。人権教育の推進に向け、まずは教員の人権意識を高めるための研修を行え。

小畑 敏雄議員(自民)

シルバー人材センターへの支援

質問 シルバー人材センターは、仕事の受注をふやすため、会員の意識改革などに努めている。高齢者が生きがいを持ち活躍できる場となるよう区は積極的に支援せよ。

子育て家庭への支援

質問 保育料が高い認可外保育施設にやむなく子どもを預ける家庭がふえている。区は、杉並区の保育料助成の取り組みも参考に、こうした家庭への支援策を検討せよ。

中学校での武道の必修化への対応

質問 学習指導要領の改訂により、中学生が武道を学ぶようになることは有意義だ。武道を専門的に学んでいない体育教員もいるため、円滑な導入に向けた対策を講じよ。

吉田 恵子議員(生ネ)

教科日本語の魅力ある授業展開

質問 教科日本語では教員の指導力不足が課題となっている。教科日本語のねらいの実現に向け、子どもにとって魅力ある授業を行えるよう、教員を一層支援せよ。

環境に対する区の取り組みのPR

質問 区の環境配慮への取り組みをPRして、区民の意識啓発につなげるべきだ。建てかえ中の公共施設の工事現場に、当該施設の環境配慮への取り組みを表示せよ。

京王線沿線まちづくりの役割

質問 京王線連立事業の進展に伴い沿線まちづくりの議論が活発化していく。区は地元自治体として区民への情報提供に努め、地域の声をしっかり事業関係者へ伝えよ。

杉田 光信議員(公明)

区境での連携したまちづくり

質問 京王線連立化に合わせ、沿線各駅の街づくり協議会の活動が活発化する。駅周辺まちづくりは杉並区に隣接する地域性を踏まえ、区境を越えた連携のもとに進めよ。

京王線沿線の商店街の活性化

質問 京王線沿線には空き店舗や空き地が目につく商店街もある。連立化に伴う駅前広場の整備に合わせ、商店街のにぎわいづくりの視点を持ったまちづくりを進めよ。

住宅施策の一層の充実

質問 住まいのセーフティネットの役割を果たす住宅の確保は区の責務だ。都営住宅の移管や民間住宅の活用を一層進めるなど、需要に見合う戸数の確保に努めよ。

竹村 津絵議員(生ネ)

地域風景資産を次世代へ継承せよ

質問 開発行為から地域の風景資産を守るためのさらなる取り組みが必要だ。その一つとして、区の公園緑地用地取得基準の要件に地域風景資産であることを加えよ。

プラスチック回収の目標を示せ

質問 プラスチックの資源回収の定着と発展には、将来見通しを区民と共有しながら事業展開することが必要だ。どこまで資源回収を拡充するのか、目標を区民に示せ。

アイドリングストップの意識啓発

質問 大気汚染につながる無駄なアイドリングへの対策が必要だ。特に苦情の多い住宅街では、アイドリングの抑制を訴える掲示物を設けるなどの意識啓発に取り組め。

石川 征男議員(自民)

文化に触れるバスマターの拡充

質問 文化財団は区内の文化施設をめぐるバスマターを行っている。より多くの区民に区内の文化的、歴史的な財産を知ってもらおう契機とするためバスマターを拡充せよ。

世田谷美術館の情報発信力の強化

質問 民間の美術館は効果的に情報を発信して集客力を高めている。区も集客力の一層の向上に向け、文化の世田谷の象徴である世田谷美術館の情報発信力を強化せよ。

喫煙マナー向上の取り組みの強化

質問 喫煙マナーの向上を図るには迷惑喫煙をしている人に直接働きかけることが効果的だ。環境美化指導員の活動範囲や巡回頻度を拡大するなど取り組みを強化せよ。

中村 公太朗議員(民主)

災害対策基金の計画的な積み立て

【質問】 災害対策基金は予測不能な大規模災害に備えるための貯蓄であり、区民の安全安心を守るために不可欠だ。厳しい財政状況下にあっても、計画的に積み立てよ。

【答弁】 計画的な積み立てを念頭に、財政状況などを踏まえて対応する。

職員提案制度の実績

【質問】 現場で働く職員のアイデアの積極的な活用こそが区政の課題解決や区民サービス向上につながる。一職員でも事務改善を提案できる職員提案制度の実績を示せ。

【答弁】 20年度には41件の職員提案があり、そのうち4件を実施した。

職員の提案を引き出す研修の充実

【質問】 自主性に頼る職員提案制度にとどまることなく、職員のアイデアを集約できる機会として研修を活用すべきだ。職員の提案を引き出す内容の研修を充実せよ。

【答弁】 提案を促す内容の研修を充実し、その成果を庁内に発信する。

上杉 裕之議員(民主)

小児精神科医療の体制整備

【質問】 都立梅ヶ丘病院は小児精神科医療を担っている。病院が移転しても、子どもが地域で精神的ケアを受けられるよう、地元自治体として都に働きかけよ。

【答弁】 精神医療などの専門性の高い医療の確保は都の役割である。

財政状況を踏まえた道路整備

【質問】 22年度は大幅な減収が見込まれており、投資的経費による事業などは見直すべきだ。新規の道路整備事業に着手するな。

【答弁】 財政状況を見きわめた上で、堅実かつ迅速な事業執行に努める。

公契約についての取り組み

【質問】 景気の低迷で中小企業の経営は厳しく、行政には公共事業の発注者として地域経済を活性化させる役割が期待されている。区は公契約についてどう取り組むのか。

【答弁】 適正な競争環境や入札制度のあり方について検討を進める。

ひうち 優子議員(世田谷)

介護サービスの充実

【質問】 介護疲れのために働き盛りの世代が仕事を辞めざるを得ない状況がある。仕事と介護が両立できるような小規模多機能型サービスやショートステイなどを充実せよ。

【答弁】 今後も介護サービスの充実や介護人材の確保などに取り組む。

介護休業への理解促進

【質問】 介護休業は法に基づく制度であるが、社会の理解が進まないため取得率が低い。ワークライフバランス推進の観点から、介護休業を取得しやすい環境を整備せよ。

【答弁】 介護休業への理解促進を含め、多様な工夫をして啓発する。

女性特有のがん検診の充実

【質問】 乳がんや子宮がんの検診受診率向上のため、区外で働く女性の利便性向上の観点も踏まえ、区のがん検診の公費負担を区外の医療機関でも受けられるようにせよ。

【答弁】 検診内容などさまざまな課題があり、今後の研究課題とする。

平塚 敬二議員(公明)

災害救援ベンダーの設置推進

【質問】 過去の被災地では、災害時に商品を無料で取り出せる自動販売機である災害救援ベンダーが好評だったと聞く。区民の避難が想定される施設への設置を進めよ。

【答弁】 飲料の入手手段として有効であり、導入の可能性を検討する。

再生可能エネルギーの利用促進

【質問】 住宅都市という区の特長に合った再生可能エネルギーの利用を促進すべきだ。水素と酸素から電気と熱をつくる家庭用燃料電池システム設置への助成を行え。

【答弁】 今後も世田谷にふさわしい技術や機器の導入促進に努める。

新たな都市型産業の誘致と集積

【質問】 区は映像、コンテンツ、情報関連産業を新たな区内産業の柱とし、その誘致と集積を行うという方針を示した。今後の取り組みにおける具体的な手法を示せ。

【答弁】 民間事業者への側面的支援の仕組みの構築などを早急に行う。

藤井 まな議員(民主)

AEDの緊急点検の実施

【質問】 救命時にAEDが作動せず、女性が死亡する事故が他県で起きた。区は販売元が同じAEDも区内に配備していることから、同様の事故を防ぐため直ちに点検せよ。

【答弁】 各施設でのAEDが正常に作動するか現在確認を行っている。

駒沢大学駅周辺の放置自転車対策

【質問】 駒沢大学駅周辺の放置自転車の解消に向け、区は上馬地区会館跡地に駐輪場を整備すると聞く。より多くの駐輪台数を確保できるよう、立体化構造の駐輪場とせよ。

【答弁】 可能な限り多く収容できる構造の駐輪場の整備を検討する。

下北沢駅周辺の放置自転車対策

【質問】 区内でも放置自転車数が多い下北沢駅周辺に、小田急線地下化後の上部を利用して駐輪場を整備されると聞く。駐輪台数の目標を明確に掲げて整備に取り組み。

【答弁】 1200台程度の規模の駐輪場整備に向けて鉄道事業者と協議する。

桜井 稔議員(共産)

高齢者への慶祝品の充実

【質問】 区は高齢者に慶祝品として区内共通商品券を贈っているが、区境に住む区民の生活圏では利用できる店が少ないと聞く。高齢者に喜ばれるよう慶祝品を充実せよ。

【答弁】 今後とも、区内共通商品券の利便性が高まるよう取り組む。

介護療養病床の増設

【質問】 介護療養病床が満床のため高齢者を家族が自宅で介護する場合、多額の費用がかかる上に仕事を減らざるを得ないこともある。

【答弁】 今後とも、国の動向などを注視し、都との連携を強化する。

地上デジタル放送移行に伴う問題

【質問】 国が一方的に地上デジタル放送に移行するとしたことにより、アンテナ設置費用の自己負担などに対して区民からの不安や怒りの声がある。区は対策を講じよ。

【答弁】 今後もテレビ受信者支援センターと連携し情報提供に努める。

大場 やすのぶ議員(自民)

区立図書館でのICTタグの導入

【質問】 区立図書館でのICTタグの導入は図書館の効率的運営や利用者の利便性向上に有効だ。多額の費用がかかるため、費用対効果をしっかりと見きわめて導入せよ。

【答弁】 所要経費や導入手法などについて、具体的に検討する。

ホームページの利便性の向上

【質問】 区のホームページは、必要な情報に容易にたどり着けない上に情報そのものも不足している。担当窓口の案内図を掲載するなど、利便性向上に向けた改善を行え。

【答弁】 区民が必要な情報を的確に把握できるよう、改善に取り組む。

ホームページ再構築に向けた検討

【質問】 区は多額の費用を費やしてホームページを再構築する予定だ。費用に見合う内容となるよう、拙速に進めず先進事例の十分な研究などを行った上で実施せよ。

【答弁】 十分な検証や検討が必要だと考え、実施時期も含め検討する。

畠山 晋一議員(自民)

実態を踏まえた商店街への支援

【質問】 一部の商店街には設置当初の目的を理由に区から電灯料が補助されない街路灯がある。区民に安全安心を提供する街路灯の公共的な役割を踏まえ補助対象とせよ。

【答弁】 実態を把握し、商店街の特性や需要に的確に対応する。

通学路の安全確保への迅速な対応

【質問】 通学路の交通量などは日々変化しており、危険箇所への臨機応変な対応が重要だ。危険箇所の迅速な改善に向け、区が率先して学校に改善要望を確認せよ。

【答弁】 学校との意思疎通を一層密にし、通学路の安全確保を図る。

新BOP職員の資質向上

【質問】 新BOPで遊ぶ子どもにも職員がおろそかな対応をするケースがあると聞く。子どもの気持ちや状況に十分気を配りしっかりと接するよう、職員の資質向上を図れ。

【答弁】 新BOPの職員の意識と能力の向上などに取り組む。

高久 則男議員(公明)

3人乗り自転車の貸出事業の実施

【質問】 幼児を乗せる3人乗り自転車は、活用する期間が短い割に高価なことから購入を控える向きがある。区は子育て支援の一つとして、自転車の貸出事業を実施せよ。

【答弁】 維持経費の負担などの課題もあるため、引き続き研究する。

学校トイレの洋式への切りかえ

【質問】 学校トイレの改修では環境に配慮する視点が重要だ。洋式便器が和式に比べて節水面で優れる点などに着目し、トイレ改修に合わせて洋式便器の整備を進めよ。

【答弁】 児童生徒の意見も含め学校の意向を重視して柔軟に対応する。

魅力ある町会自治会づくり

【質問】 地域の基盤を担う町会自治会では加入率の低下や高齢化が進み、若い人材の確保が課題となっている。区は魅力ある町会自治会づくりに向け、積極的に支援せよ。

【答弁】 新たに取り組む活動も積極的に支援し、一層の活性化を図る。

稲垣 まさよし議員(民主)

高齢者への住宅支援の実績

【質問】 住生活基本法の趣旨を踏まえ、区は住まいサポートセンターを設置して民間ストックを活用した事業を行ってきた。19年以降の高齢者への住宅支援の実績を示せ。

【答弁】 10月末まで貸付物件情報提供サービスが約600件など。

高齢者への住宅支援の充実

【質問】 厳しい経済状況の中では、住宅に困窮する高齢者への支援が一層重要だ。民間住宅の借り上げやせたがやの家の空き室の活用などでさらなる住宅の確保に努めよ。

【答弁】 既存の制度を一層活用し、民間賃貸住宅への入居を支援する。

診療報酬の改定に伴う区への影響

【質問】 医療費が増大しており、医療保険制度の安定的運用が危ぶまれている。国が見直しを進めている診療報酬がプラス改定となった際の区の国保財政への影響を示せ。

【答弁】 1%のプラス改定で公費負担が約3億円増加する見込みだ。

里吉 ゆみ議員(共産)

保育室利用者への補助金交付方法

【質問】 保育室の利用料の全額を一時的に支払うことは、低所得者には大きな負担だ。保育料支払い後に3カ月分の補助金をまとめて交付する現行の交付方法を改善せよ。

【答弁】 事業者の負担がふえることなどから交付回数が増加は困難だ。

図書館の運営手法のあり方

【質問】 図書館に指定管理者制度を導入した自治体ではその弊害が指摘されており、導入後に直営に戻す自治体まで出ている。区立図書館に指定管理者制度を導入するな。

【答弁】 導入のメリットとデメリットを十分に勘案して検討する。

精神障害者の就労支援の拡充

【質問】 精神障害者の就労支援を拡充すべきだ。就職に関する情報の提供や烏山福祉園移転後の空き施設への貸与を初めとした障害者施設への場の提供などに一層取り組み。

【答弁】 就職に関する情報の提供や就職活動の支援などを一層進める。

西村 じゅんや議員(民主)

ワンストップサービスの周知

【質問】 求職中の生活困窮者が職業や住居の相談などを1つの窓口で行えるワンストップサービスが11月30日に全国のパイロットで試行される。周知状況を示せ。

【答弁】 国がチラシの作成などにより周知していると認識している。

ワンストップサービスへの対応

【質問】 ワンストップサービスの試行は、国と自治体が協力して行うものだ。職員の派遣や他区との連携など、実施に当たっての現時点での区への対応を具体的に示せ。

【答弁】 職員3名をハローワーク渋谷に派遣し、相談業務に当たる。

新樹苑の浴室の一般開放

【質問】 公衆浴場が高齢者のコミュニケーションの活性化に果たす役割は大きい。新樹苑の周辺は公衆浴場の空白地域であることから、浴室を高齢者に一般開放せよ。

【答弁】 費用対効果や安全性の確保などの課題があると考えている。

次回の定例会は2月下旬から開催する予定です

（1ページからの続き）

○職員の特務勤務手当条例
（全員賛成）

○不規則勤務特殊業務手当の廃止。
（全員賛成）

○工事請負契約の締結 1件

○荻花小学校・荻花中学校校舎解体工事
（全員賛成）

○相手方「株式会社内村工業」
契約金額一億六七七九万円

○工事概要「鉄筋コンクリート等
建物」「荻花小学校」校舎、倉
庫など 「荻花中学校」校舎、
倉庫など

○損害賠償額の決定 1件

○自動車事故に係る損害賠償額
（全員賛成）

○20年に世田谷4-18先路上で発
生した自動車事故の損害賠償額
の決定。

○負担付贈与の受入れ 1件
（全員賛成）

○仮称区宮玉川四丁目アパートの
都からの受け入れ。

○財産の取得 1件

○大蔵第二運動公園用地等
賛成多数
賛成「自民公明民主共産生業政策
社民区民虹世田谷無所属
反対「無党派」

○相手方「独立行政法人年金・健
康保険福祉施設整理機構」
買取金額「七四億九六一三万四
一四六円

○買取する土地「大蔵4-159-7、
21、22、23、24、大蔵4-180-
1（面積二万三九五・五九㎡）
買取する建物など「体育館、プ
ール、ゴルフ練習場など」

○特別区道路線の認定 2件
（全員賛成）

○所在地 延長（m）

○成城1-4 142・55

○相師谷4-30 66・01

○指定管理者の指定 1件
（全員賛成）

○施設名称 指定管理者

○松原自転車等 社団法人世田谷区
駐車場 シルバー人材センター

○人権擁護委員候補者の推薦 1件
（全員賛成）

○次の候補者を法務大臣あてに推
薦することを可とする答申。

○氏名 住所

○田中 京子（新任） 豪徳寺

○教育委員会委員任命の同意 1件
（全員賛成）

○富岡 富美子（新任）



議会日誌

閉会中に開催された委員会
11月16日(月) 分権、オウム、清掃、交通
17日(火) 企画、議運
24日(火) 企画

会期中の主な会議日程
11月25日(水) 本会議（代表質問）、議運
26日(木) 本会議（代表質問、一般質問、議案の付託）、企画
27日(金) 本会議（一般質問、議案の付託、議案の議決、請願の付託など）、議運
30日(月) 企画、区民、文教
12月1日(火) 福祉、都市
2日(水) 分権、オウム、清掃、交通
4日(金) 本会議（議案の議決、請願の付託など）、議運

委員会名称
企画＝企画総務委員会 区民＝区民生活委員会
福祉＝福祉保健委員会 都市＝都市整備委員会
文教＝文教委員会 議運＝議会運営委員会
分権＝地方分権・庁舎問題等対策委員会
オウム＝オウム問題・災害・防犯等対策委員会
清掃＝清掃・リサイクル対策委員会
交通＝公共交通機関対策等委員会

請願

○皆さんから新しく出された請願
陳情をお知らせします。

◆企画総務委員会に付託 2件
○世田谷区役所による事業仕分け
実施に関する陳情

○非核三原則の法制化を求める意
見書採択に関する請願

◆福祉保健委員会に付託 2件
○福祉担当者の積極的な対応を求
めることに関する陳情

○世田谷区認可外保育施設に通う
保護者の負担軽減の対象拡大を
求める陳情

◆都市整備委員会に付託 1件
○二子玉川東地区第一種市街地再
開発事業第2期事業基本計画等
について、住民、行政、事業者
で協議する場を設ける事に関す
る陳情

◆清掃・リサイクル対策委員会に
付託 1件
○千歳清掃工場の民間委託（案）
の撤回に関する陳情

要望書

○区議会は、次の要望書を関係機
関あてに提出しました。

◆固定資産税・都市計画税の減免措
置等の継続を求める要望書

○経営基盤の脆弱な小規模事業者
を取り巻く環境は、長期的な景気
の低迷に加え、雇用不安の拡大、
金融事情の悪化、後継者不足など、
さまざまな危機に晒されています。

○このような社会経済環境の中で、
世田谷区内の事業者は、厳しい経
営を強いられ、その生活基盤は圧
迫され続けています。

○こうした中、東京都が昭和63年
度より実施している、小規模住宅
用地にかかる都市計画税を二分の
一とする軽減措置が廃止されるこ
とになれば、小規模事業者の経営
に更なる打撃を与え、地域経済へ
の悪影響も懸念されます。

また、小規模非住宅用地の固定
資産税・都市計画税の2割減免措
置についても、平成14年度から実
施されておりますが、この措置が
今年度限りで廃止されることにな
れば、小規模事業者の経営に極め
て深刻な影響を与えることも危惧
されます。

さらに、平成17年度から実施さ
れている、固定資産税等の負担水
準が65%を超える商業地等の税額
軽減措置は、商業地等の過大な税
負担を緩和する有効な施策であり、
その継続が強く望まれています。

よって、世田谷区議会は、地域
社会の活性化を高める立場から、
貴職に対し、次の事項を実施され
るよう要望いたします。

1. 小規模住宅用地に対する都市
計画税の二分の一軽減措置を引
き続き平成22年度以降も実施す
ること。

2. 小規模非住宅用地に対する固
定資産税・都市計画税の2割減
免措置を引き続き平成22年度以
降も実施すること。

3. 商業地等における固定資産税
・都市計画税を、負担水準の上
限を65%に引き下げる減額措置
を引き続き平成22年度以降も実
施すること。

平成21年11月17日
東京都知事 あて

東京都市知事 あて

世田谷産農産物即売市（三軒茶屋ふれあい広場）



編集後記

○今定例会では、36名の議員が、
環境施策の推進や子育て支援の
さらなる充実など、区政のさま
ざまな課題について質問を行
いました。

○区議会定例会は、2、6、9、
11月の年4回開かれます。なお、
本会議や予算・決算特別委員会
の模様を、区役所第1、第3庁
舎、総合支所、文化生活情報セ
ンター内の市民活動支援コーナ
ーで生中継しています。ぜひご
らんください。

○お問い合わせやお気づきの点が
ありましたら、区議会事務局調
査係までお寄せください。

TEL（五四三二）二七九
FAX（五四三二）三〇三〇

本紙に掲載された質問、答弁などの詳しい内容についてお知りになりたい方は、会議録（2月中旬発行予定）をごらんください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所、まちづくりセンターなどに備えてあります。また、ホームページでもごらんいただけます。